

代表者名	堀井 啓一	所 管 部 課 名	総務部総務課
所 在 地	秋田市新屋町字砂奴寄 4 番 6	設 立 年 月 日	平成12年4月1日

【沿革及び県の出捐理由】

スポーツ・文化の振興、産業廃棄物の適正処理、脳血管医学の振興及び県有体育施設・文化施設等の管理運営を通じて県民福祉の増進に寄与することを目的に、12年4月、環境保全公社、脳血管医療施設管理公社、脳血管医学振興会、スポーツ振興事業団の4法人統合により設立。25年4月一般財団法人へ移行

【出捐者】（25年度当初）

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	35,000	56.6
市町村	10	18,500	29.9
その他	4	8,300	13.4
計	15	61,800	100.0

【事業】

①主たる業務

県有施設の管理運営（環境保全センター、県立体育館、県立スケート場、県立総合プール、県立総合射撃場、県立野球場、県立向浜運動広場、県立武道館、県立中央公園、県民会館）

②事業実績

(人・千円)

事業名等	22年度	23年度	24年度
施設利用者数	1,533,642	1,422,093	1,448,887
県管理委託費	1,161,108	983,011	967,186

③24年度事業概要及び25年度事業計画・目標

24年度事業概要
 利用者の声を取り入れた施設経営に努め、利用促進とサービスの向上を図るとともに、公社独自のスポーツ・文化振興事業を積極的に行い、施設利用者が144万人を超え、年間の利用目標を達成した。

25年度事業計画
 1. 施設の安全管理とサービス向上 2. 利用促進事業の推進 3. 省エネ、環境保全の推進 4. 障害者雇用の推進
 5. 社員資質の向上

【組織】

①役員数 (H25.7.1現在) (人)

	理	事	監	事
常勤		1		
内、県退職者		1		
内、県職員				
非常勤		5		2
内、県退職者		1		
内、県職員		1		
計		6		2
内、県関係者		3		

②職員数 (H25.4.1現在) (人)

正職員	42	正職員 平均年齢 48.1歳	正職員 平均勤続年数 15.0年
内、県退職者	7		
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	126		
内、県退職者	1		
計	168	平成24年度正職員平均年収 4,554千円	
内、県関係者	8		

役員報酬支給対象者数(平成24年度)	1人
役員報酬支給対象者平均年齢	61歳
平均役員報酬額(平成24年度)	4,086千円/年

【財務】

①損益状況 (24年度) (千円)

	金 額
経常収入 A	1,215,134
受託事業収入	1,117,919
補助金収入	818
自主事業収入	90,999
運用益収入	82
その他	5,316
経常支出 B	1,212,589
人件費	508,242
その他	704,347
経常損益 C = A - B	2,545
経常外収入	
経常外支出	
諸税	823
当期損益	1,722

(千円)	
県の損失補償額	県の債務保証額

②財務状況 (24年度末) (千円、%)

	金 額	構 成 比
流動資産	218,207	47.3
固定資産	243,033	52.7
資産計	461,240	100.0
流動負債	119,057	25.8
短期借入金		
固定負債	156,331	33.9
長期借入金		
負債計	275,388	59.7
基本金	61,800	13.4
剰余金	124,052	26.9
正味財産計	185,852	40.3
負債・正味財産計	461,240	100.0

(千円、%)		
退職給与引当状況	要支給額	引当額
	139,019	139,019
		引当率
		100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	22年度	23年度	24年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	1,161,108	983,011	967,186	秋田県有施設管理委託
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	22年度	23年度	24年度	22-23増減	23-24増減
健全性	自己資本比率	%	48.22	48.87	40.29	0.65	△ 8.58
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	168.62	186.61	183.28	17.99	△ 3.33
	経常収入額	千円	1,334,158	1,203,225	1,215,134	△ 130,933	11,909
効率性	剰余金(△欠損金)	千円	193,381	206,244	124,052	12,863	△ 82,192
	総資本利益率	%	5.02	2.80	0.55	△ 2.22	△ 2.25
	職員1人当たり経常収入額	千円	7,135	6,955	6,904	△ 180	△ 51
	人件費比率	%	39.44	42.22	41.83	2.78	△ 0.39

2 経営目標の達成状況

経営目標			22年度	23年度	24年度	25年度
経営改善指標	施設管理事業費(千円) H25目標から「事業費」	目標	1,231,127	1,098,851	1,070,212	1,183,798
		実績	1,133,989	1,034,814	1,114,626	
事業成果指標	文化・体育施設利用人員(人)	目標	761,650	958,080	923,216	939,941
		実績	832,982	923,807	1,002,804	
顧客満足度指数	顧客満足度指数	目標	80	80	80	80
		実績	80	78	80	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

公社のスローガンである「不断の改革と更なる挑戦」のもと、利用者の声を取り入れた施設管理に努め、利用促進と利用者サービスの向上を図るとともに、公社独自のスポーツ・文化振興事業を積極的に展開してまいりました。

春先からの天候不順や、残暑による屋外施設における利用者数の低迷もありましたが、公社が管理するスポーツ、文化、公園施設の利用者は144万人をこえ、年間の利用目標を達成することができました。

経営効率化のための課題である経費縮減の取組については、利用者の皆様に不便を感じさせないきめ細かな省エネ等を実施し成果をあげることができました。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

事務所毎に継続してアンケート調査を行い、利用者の皆様や利用団体から寄せられた意見や要望を、施設の管理運営に反映させながら改善に努めました。また、新たに設置された「施設利用促進に係るワーキング委員会」において、利用促進の諸課題と顧客満足度向上のための方策を検討し、委員会で提言のあった避難経路の掲示などを各施設で実施しました。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<p>・経常収入は歌舞伎や著名アーティストの公演等による事業収入等により前年度に比べ11百万円増加したが、冬の低温と大雪による除雪、燃料費がかさみ経常支出等が24百万円増加したため、経常収支は前年度に比べ12百万円減少し、2百万円となった。</p> <p>・経営改善指標の施設管理事業費が目標に対して44百万円超過となっているが、その主な要因は、平成25年4月からの一般財団法人移行に伴い24年度から事業費と管理費を明確に区分するため人件費等について会計上の振替を行ったことによるものであり、この影響を除けば目標は達成している。</p>	